

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		駿河台大学		設置者名		学校法人 駿河台大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成24年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数	
						実数	個別		
法学部	法律学科	260人	中一種免(社会)	昭和62年度	296人	11人	9人	0人	
			高一種免(地理歴史)				7人		
			高一種免(公民)				9人		
経済経営学部	経済経営学科経済と社会コース	80人	中一種免(社会)	平成25年度	—	—	—	—	
			高一種免(公民)				—		
メディア情報学部	メディア情報学科	160人	高一種免(情報)	平成21年度	167人	5人	5人	0人	
現代文化学部	現代文化学科	130人	中一種免(英語)	平成21年度	123人	15人	1人	2人	
			高一種免(英語)				1人		
			中一種免(保健体育)				12人		
			高一種免(保健体育)				14人		
心理学部	心理学科	130人	中一種免(社会)	平成21年度	108人	0人	0人	0人	
			高一種免(公民)				0人		
入学定員合計		760人	合計		694人	31人	58人	2人	
大学名		駿河台大学(大学院)		設置者名		学校法人 駿河台大学			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成24年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数	
						実数	個別		
経済学研究科	経済・経営専攻	10人	中専免(社会)	平成15年度	4人	0人	0人	0人	
			高専免(公民)				0人		
現代情報文化研究科	文化情報学専攻	15人	高専免(情報)	平成18年度	3人	1人	1人	0人	
	法情報文化専攻	15人	中専免(社会)				0人		
			高専免(公民)				0人		
入学定員合計		40人	合計		8人	1人	1人	0人	
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成25年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。								

## 教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成25年6月10日（月）

実地視察大学：駿河台大学

実地視察委員：宮崎英憲委員，和泉研二委員

## 【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程及び教育組織等について，教育職員免許法及び教職課程認定基準等を満たしていない点があるので，制度を理解の上，速やかに是正すること。

## 【個別事項】

## 1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○教職課程は，「教科に関する科目」と「教職に関する科目」によって編成されるものであり，両科目を担当する教員が協力して教職課程を運営していくことが重要である。現行においては，教職課程の運営について，「教職に関する科目」を担当する専任教員に依拠しているように見受けられる。今後，各学科に所属する「教科に関する科目」を担当する専任教員も教職課程の運営に積極的に参加するような仕組みを構築し，教職課程委員会が，全学的な組織として機能するように改善いただくことを期待する。

○教職課程は，教員免許状という資格を授与するための課程であることに鑑み，授業内容の扱いについて，個々の教員に完全に委ねるのではなく，教職に関する全学組織で定められた教育課程の編成方針のもと，その内容の点検・検討ができるような体制・仕組みの構築が必要であるため，今後御検討いただきたい。

## 2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目），履修方法及びシラバスの状況

○教職課程が1年次～4年次に系統的に編成されているように見受けられ，評価できる。

○「教職に関する科目」について，教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か，シラバスからは判断できない授業科目があるため，法令で扱うこととしている内容は必ず扱うように，授業内容を再度確認・検討すること。なお，シラバスの記載内容及び記載方針を定め，法令に定める「含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかをシラバスの授業計画から確認できるようにすること。

○「教科に関する科目」については，自学科等での開設を原則としている一方，教職課程の科目内容の水準の維持・向上等を図る観点から，教育職員免許法施行規則に定める科目区分の半数までは他学科又は共通開設の授業科目を充てることを可能としているが，一部課程においては，科目区分の半数を超えて共通開設の授業科目を充てているように見受けられる。それら課程については，教職課程認定基準を満たすように速やかに是正すること。

### 3. 教育実習の取組状況

- 学生の母校における実習を基本としているが、遠隔地の学校に教育実習に行く学生に対しても、必ず巡回指導を実施しているなど、実習期間中の指導、事前事後指導等について、丁寧に取り組まれている状況が確認された。
- 巡回指導を担当している教員は、「教職に関する科目」を主に担当する教員のみになされているように見受けられたが、教職課程は、「教科に関する科目」、「教職に関する科目」によって編成されるものであり、両科目を担当する教員が教職課程を運営していくことが重要である。教育実習の指導を含め、全学的な組織の責任のもとに、「教科に関する科目」と「教職に関する科目」を担当する教員が、連携・協力して実施することを今後御検討いただきたい。
- 教育実習は、大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。今後、地元教育委員会や学校との連携を進め、近隣の学校における実習先の確保に努めていただきたい。

### 4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 免許状取得者数及び教員就職者数が極めて少ない学科等が多数を占め、教職指導についても、個々の教員の努力に委ねられているように見受けられた。教職を目指す学生全てに対して、一定の水準以上の教職指導が実施されるように、体系的かつ組織的に指導していくための体制を今後御検討いただきたい。
- 履修カルテの導入が2年次と遅い時期になっていることが確認された。教職指導は、履修指導のみならず、学生が教職について理解を深め、教職への適性について考察するとともに、各授業科目の履修等を通して、主体的に教員として必要な資質能力を統合・形成していくことができるように、教職課程の全期間を通じて、大学が計画的・組織的に指導することが必要である。このため、履修カルテは、入学時から有効活用するように改善すること。また、入学から卒業までの間、担任持ち上がり制を採っているとの説明があったが、履修カルテを担当教員が管理・随時確認するなど、履修カルテの有効活用を含め、教職指導体制の充実に努めていただきたい。
- 教員採用試験に合格する学生が少ないということだが、今後、キャリアセンターを中心に、教職課程の授業科目を担当する教員と連携・協力して、教員採用試験対策を行う仕組みを構築するなど、キャリアセンターの機能強化を期待する。

### 5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 昨今の教育現場の課題に対応可能な教職課程とするために、教育委員会・学校と、教員養成を担う大学との連携・協働による教員の資質能力の高度化が求められている。飯能市は、市内の約7割が山野という地域ではあるが、大学の所在地は、連携が可能な場所に位置していると思われるので、今後、地元教育委員会・学校との定期的な情報共有のみならず、学生を積極的に学校ボランティア等に送り出すなど、大学側から地元教育委員会・学校に対し働きかけを行い、更なる連携・協働を図るよう努めていただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 体育系施設、情報系施設について、整備・充実している状況が確認された。
- 図書については、教育関連の図書や雑誌が不足しているように見受けられた。各教科（道徳を含む）に関する図書及び教育学関連に関する図書等の教職関連図書について配架状況を確認し、教職を志す学生が教育に関する必要な知識・最新の情報を入手できるように今後充実に努めていただきたい。

7. その他特記事項

- 特になし。